

# いしや先生

町おこし映画週末記

あべ美佳

「周子先生のご実家がすげえ近いですので行ってみたい」との提案に、ここはプロ根性が見せどころ、本当は宿で横になりたいのきまます」と言ってしまう。ご実家には周子先生の実弟がいっぱいいると、せひお会いしたい、お悟られないように踏ん張る。

「こんな大事なときに、やばい、一体どうしたんだらう？ おかしい、おがしい」。私は焦り、一人で混乱し、かといって誰にも言えず、必死で弟さんの話を聞こうと耳をすませた。でも、今度は耳までよく聞こえなくなってきた。正直に言って、あの日のことはあまり記憶にない。梯次郎さん、ごめんなさい。

私は途中でこんなお願いをした。「あの、すみませんが後でお線香をあげさせてもらえませんか？ 周子先生にご挨拶したいです」

「かまいませんよ。ああ、そういえば今日、命日だな」

「え？ 今日ですか？」

「だ。……断っておくが、私には靈感なんてありません。この話、次回へ続けてもいいですか？」

(脚本家・作家、尾花沢市出身)

11月1日掲載します

## 初取材—実家で体に異変!?

早月1日、「志田周子の生涯を銀幕へ甦らせる」製作資金1億円の募金活動出発式が湯殿山神社で行われた。西川町役場に口座も開設され、いよいよ皆さんの熱意が目に見える数字となって表れることとなる。

井沢を訪れたときの話をし、最初の1カ月で、いっような2011年7月18日、もうちょべたいなんぼ集まるのか。ド爽やかな風が吹く山形駅、キドキワクワクである。に、私とプロデューサーは降り立った。前日から珍しく緊張していた私は、当日の朝になってもいつもの調子が出ず、お昼の山菜そば跡からすく

私を生まれた町・尾花沢では、口座開設のだいぶ前から「美佳ちゃん、がんばれ」と寄付を持ってきてくれた方がいた。「ちよべつと待ってける」「んだって気持ちだもの」。思い立つたらずく動くその姿勢、好ぎだあ。あなたは間違いなく、寄付第1号。本当にありがとさまですー！ 1円たりとも無駄にできないねと皆で話しております。ふん



周子先生 話を聞きたい、よし、もうちょべつと頑張るべ！

周子先生 周子先生のご実家がすげえ近いですので行ってみたい」との提案に、ここはプロ根性が見せどころ、本当は宿で横になりたいのきまます」と言ってしまう。ご実家には周子先生の実弟がいっぱいいると、せひお会いしたい、お悟られないように踏ん張る。